

教 育 新 聞

第35回全国協同(バス)学習研究大会

J-ISSNの理事を英語、歌、ダンスを一体移している。『英会話たいそう』はただ、体を動かして楽しむ全国の小学校で「大ブーム」というものではない。英語学習ではまず、



の習得を目的とし、最新型で多様性のある教材、Advantageの教授法と豊富なマルチメディア教材で、効果的な学習を表現する。また、教師が授業に合



問題を出し合いグループ全員で解く

■少人数とT・Tで3200円の商品を買うにはどのように支払うたらよいか、模擬の1000円札と100円玉を使って一斉授業を行う。次は、隣の席の子とペアを組み、1000円玉で支払うには何個必要かを学習させる。

これは、愛知県犬山市立楽田小学校(有本高野校長、児童数688人)で1月20日に開催された

ペア学習などで助けあう

◆愛知県犬山市立楽田小学校◆

授業では続いて、児童を「お店屋さん」と「お客様」に分け、買い物をするような学習させた。そして、その日の学習を4人1組のグループに分け、計算問題を行わせ、授業後は続いて、児童000までの数の第4時で、1クラス31人を2分した。同単元は、全9時間で第1時と第9時をT・T、第2時と第8時を少人数授業として、授業後は学習内容の非常勤講師をあて、各

犬山市立楽田小学校 有本高野校長

が、今、私たちが学校でやらなければならないことは、協同学習がいつていける「信頼に支えられた人間関係を基盤にした教育活動」だ」と話した。

大会のまとめでは「ペア学習」の研究で、犬

人間の生き方の原理であり、そうであるならば、学習指導の原理でもある「ペア学習」と話した。

学年の学級数に1クラスをクラスした教員に学年を分割している。

この日、授業を指導した非常勤講師の岩田裕美先生は、ペア学習やグループ学習を行った感想を「学習は自分だけではいい、というものは、ペア学習では隣の子を、グループ学習ではグループの子を助けるということ、子供たちが率先して行っている」と述べる。

「協同」は学習指導の原理

大会の開催行事で有本校長は「学校の主人公は子供。学校の教育活動の中心基盤は楽しい授業」と述べた。また、全国協同(バス)学習研究会長の長瀬秀孝愛知県春日井市立南城中学校校長は、「子供にまつわるいろいろな問題が起きてい